

## 第49回茨木市こども育成支援会議 事前質問等

項番	資料名	ページ数	ご意見・ご質問	回答	担当課	質問者
1	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用定員(確認)について		<p>数値の適切性は現場のキャパ(物理的広さや設置教職員数等)との対応で考えられているのだと思います。現場を見ていないので非常に適切性は分からないのが正直なところではないでしょうか。</p> <p>ただ、前回会議で指摘された、例えば保育・教育の品質が実現できるデータが把握できるようにできれば良いと考えます。</p> <p>現在マスコミ等で取り上げられている不適切保育、更に命に係わる事態の発生が少なからずあること等を見ると、総合的キャパは超えているのではないかと考えられないでしょうか。</p>	<p>教育・保育の質について、データ上での把握というのは難しいですが、施設選びにおいて保護者の選択に資するよう、本市のHPで情報を公開しており、内閣府が運営する子ども子育て支援情報公表システム「ここdeサーチ」において、全国の確認を受けた施設の情報を検索することが可能となっております。</p> <p>本市における4月1日時点の待機児童数は0人となっておりますが、各施設では定員弾力化を行って受入している状況ではありませんので、受入体制の確保とともに、質の向上に努めております。</p>	保育幼稚園総務課	宮島委員
2	その他		<p>当日の配布資料には添付されていませんでしたが、できればホームページに、できるだけ丸めずに公表いただきたいと思えます。そうすることで、地域へのヤングケアラーへの理解、認識が少しは進むと思えます。</p> <p>大阪市では、既に具体的な支援策に着手しようとしているようです。茨木市でも、できるだけ多くの機関・団体、人を連携させた対策を明らかにする必要があります。</p>	<p>ヤングケアラー実態調査の報告書につきましては、3月末までに市ホームページにて公開し、ヤングケアラー支援に係る課題等について、広く市民の方に周知してまいります。</p> <p>今後本市では、関係機関等の支援者がヤングケアラーに気づき、発見した際の見守りや適切なサービス(窓口)につながるよう連携体制の強化や相談窓口の充実等の検討を行ってまいります。</p>	こども政策課	宮島委員